

2023年 心の健康講座 ご案内

コロナウイルス禍により、しばらく開催できませんでしたが、このたびリアルで開催することになりました。コロナ対策には万全を期します。

当会の初の試みとして、かつての「入院森田療法」施設にスポットを当てます。その第一弾として「鈴木知準診療所」における治療者と入院体験者に語っていただきます。

森田療法の原点である入院森田療法の実際を明らかにし、今後の森田療法の発展に寄与できればと考えます。

またとないこの機会にお誘い合わせのうえ、ぜひお出かけ下さい。

【予約が必要です】

■日時 6月24日(土) 13:30~16:00

テーマ; 「鈴木知準診療所の入院森田療法」—講演と座談会—



【講師】
岩木久満子
(顕メンタルクリニック
院長)



【座談会】=正知会会長
畑野文夫 (元講談社インターナシ
onal社長、コーディネーター)
ほか入院体験者数名

畑野文夫氏

東邦大学医学部卒、東京慈恵医大精神医学教室入局後、同大学付属第三病院、鈴木知準診療所にて入院と外来森田療法を学ぶ。

■会場 社会福祉法人かがやき会 就労センター「街」(まち) 3階
〒161-0032 新宿区中落合1-6-21

※1階がスワンペーカーリー&喫茶カフェタウン

【最寄駅】西武新宿線「下落合」または「中井」駅、大江戸線「中井」駅から各8分

■定員 20名【予約制、先着順】

■参加費 1,000円(ただし、保存会会員は無料、随時入会受付)

■申込み 会員は同封のハガキにて。下記メールアドレスからも可。

■問合せ 事務局 2階資料室(ただし、火、水、木、金、土曜の10時~16時)

☎03-3952-9975 Eメール; info@hozokai.net

ホームページ; <http://www.hozokai.net/> 「高良保存会」で検索

◎主催; 高良興生院・森田療法関連資料保存会

◎後援; 公益財団法人メンタルヘルス岡本記念財団



1 森田療法とは?

1919年頃、東京慈恵医大・初代精神科教授の森田正馬もりたしょうまにより編み出された我が国が世界に誇るべき神経症の治療法である。森田はフロイトと同時代人であり、この心理学の黎明期に、西では精神分析法、東では森田療法が生み出されたこととなります。

森田療法は、何かにとらわれて心が流れなくなる状態を日記指導などを用いて段階的に打破し、「あるがまま」の健康的・創造的な心的状態へと変化させていく治療法です。原法は家庭的入院療法ですが、現在は実施できる施設が少なくなり、外来での森田療法が主流です。(HPより)

2 高良興生院とは?

森田正馬の下で森田療法を学んだ高良武久(東京慈恵医大名誉教授)が1940年に設立した森田療法を専門とした病院。また、ここは、森田療法を学ぶ場でもあり、多くの森田療法家が育って来ました。1995年に閉院となった後は、院長の阿部亨先生が、近くに森田療法専門のクリニックを開き、診療を継続されました。

3 鈴木知準診療所とは?

自ら神経症に悩んだ鈴木知準(1909~2007)が森田正馬から直接指導を受け全治したのち、東京大学医学部に進み、医者となる。1951年静岡市にて森田療法専門の診療所を開設し、1964年から東京中野区に移転。患者と生活を共にしながら森田療法を実践した。

4 正知会とは?

鈴木知準診療所において入院体験した者の勉強会である。毎月、東京で「研究会」と「座談会」を交互に開催している。正馬の「正」と、知準の「知」から名付けた。会長は、畑野文夫氏。